

# \*\*\*\*\* メリークリスマス 2010年 \*\*\*\*\*

今年もこの一年にあったことを報告いたします。(飽きずに読んでいただきありがとうございます。KH)

今年は二人一緒に宇和島で新年を迎えました。由紀子のお兄さんにゴルフに連れて行っていただきましたし、またお母さんの手料理も堪能しました。一味はお茶の水女子大と早稲田大での活動が継続中であり、東京に戻ったのですが、そこで旧知の友人であった佐々木義則氏(お茶の水女子大教授)の訃報が入り、一転悲しい一月となりました。佐々木さんはイリノイ大学の大学院時代の少し後輩で、由紀子とも長い付き合いがあった友人でした。これからもまだまだいい仕事をしていってくれる人だっただけに、本人もさぞ残念だったことと思います。合掌。

(以下ちょっとだったらと小学生の作文のようになってしまいました。ごめんなさい。)



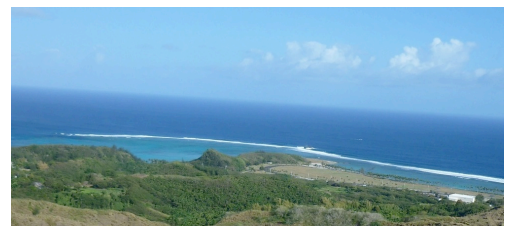
一味は早稲田での授業を終え、東京での生活を続けました。一月の終わりには初めての人間ドックも経験しました。(結果は、「大変健康!」でした。)二月は、お茶大で集中講義というのを行いました。また、さん喬師匠を長い間応援している日暮里の渡辺さん(通称ナベさん)という方と知り合いになり、短期間にいいお友達づきあいをさせていただくことになりました。(ナベさんは飲みに行くと大きい声で話すのが大好きなんです。)小学校と高校の同級生との付き合いも続けることが出来ました。さん喬師匠の関係で四月にちょっとテレビ(BS11チャンネル)に出ました。それから、2009年十月から始めた三味線のお稽古も久美弥先生のご指導の下続けることができました。五月には、伊東夫妻(パデュエの大学院生)、高橋君(アイオワ大の卒業生)、田伏さん(東ミシガン大教授)達が東京に来たので、浅草見物をしたり、東京スカイツリーを見に行ったりしました。六月にラフィエットに戻り、半年以上里子に出してあったチビタンとミ

ーターローをミシガンの久保田さんから受け取って、ミドルベリーに入りました。六回目の校長職で、例年どおり落語週間や被爆者講演などもうまくいき、大きな問題もなく無事終了しました。さん喬師匠、二業師匠、左龍師匠のスリーアミーゴは今年も元気いっぱいと言いたいところだったのですが、猛暑の一週間におつかり体力的にきつかったことと思います。(さん喬師匠、申し訳ありません、お天道様のことばかりは、あつしにはどうにもなりませんので。)今年被爆者講演にお招きした笹森恵子(しげこ)さんは講演活動などを精力的になさっているととても気さくでパワフルな方でした。とてもすばらしい出会いだったと思います。そして、2011年の夏は日本語学校は場所を替えて、カリフォルニア州のオークランドにあるミルズ大学で開催することが正式に決まりました。また、新たな挑戦が始まります。秋からはパデュエに戻り、通常の活動に復帰しました。十月に、お隣の建物に入っている化学科の根岸教授がノーベル賞を受賞することになり、暫くの間キャンパスが騒がしかったです。(日本のメディアがたくさん来ました。)根岸先生とは以前ゴルフをご一緒したり、カラオケをしたりしたことがあり、身近な方だっただけに、とても喜ばしい出来事でした。(日本でのパデュエの知名度が上がるという恩恵も受けました。)11月のACTFLという学会では牧野先生(プリンストン大教授)に角谷先生(アラム大)、加賀先生(カールトン大)、栗谷先生(アラム大)、フーゲンブーム先生(セントオラフ大)らを交えて、ボストンのチャイナタウンで会食し、久しぶりの昔話に花を咲かせました。



由紀子は日本の大学と日本語を書くことによりやく慣れてきました。幸い日本の大学はアメリカに比べ、学会出席のための研究費補助が取りやすいので、定期的に渡米し米国の学会で日本語以外の分野の応用言語学研究について勉強をしています。4月からは院生が多くなったため、指導が以前より大変になりましたが、学生との交流は楽しんでいます。現在は科研費をもらって、(そうです、あの「黄金の豚」でもテーマになっていた科研費です。不正はしていませんよ。)プロジェクトをしているほか、ほかの大学の先生との交流もあり、アメリカにいる頃よりは普通の学者をしています。教科書「なまか2」の改訂作業は何とか八月の新学期に間に合うように出版されました。想像はしていましたが、最後は産みの苦しみでした。何とか出版はされたものの、未だに間違いが見つかります。とはいえ、評判はさほど悪くないようなので、ちょっと安心しました。

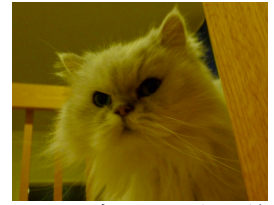
仕事以外では、ちょくちょく遊びに行っていますが、今年のバケーションは二人で Guam でのんびりしたこと。一味が脳天気ダイビングに行っている間、由紀子は島を一周して、第二次世界大戦中の廃墟や自決地等をめぐり、改めて戦争の悲惨さを感じました。その他は、三月に東ミシガン大の田伏さんと、広島、倉敷で温泉に入り、岡山では大学時代からの友人の宗田君のお父様に一日観光に連れて行って頂き、備前焼の花瓶までいただきました。また、クック治子先生(ハワイ大教授)と友人の藤原ゆかりさん(東京国際大学)と3人でホテル見物と温泉旅行をしました。七月には学会ではじめて台湾に行き、学会はともかく、かの有名な故宮博物館にも行き、台湾日有名な小籠包の店「鼎泰豊」で小



籠包を食べ、お茶の試飲をしました。(実は、後者が主な目的でした。カズ) 八月にはミシガンで田伏さんの別荘を訪ねワインを飲みながら楽しい時間を過ごすとともに、お互いアンチエイジングは大事という結論に達しました。(こわ〜) 九月には姪が結婚したので、姉一家と母とまたまた温泉。ウイコンシン大学の三浦先生が久しぶりに帰国されたので、六本木でお食事をし、十月は慶応大学の同窓会にも出席しました。こここのころ、スーパー銭湯と岩盤浴にはまり、最近、酸素タンクも初経験しました。というわけで、よく働きよく遊ぶ日々を送っています。皆さんも遊びに来られるチャンスがありましたら、ぜひお声おかけください。(宮島と平和公園のガイドはプロ並みです。)



チビタンとミータローはいたって元気に過ごしています。一味はバスケットボールは続けていますが、なかなか腹回りが減らせないでいます。年末は東京に戻り、ミドルベリー大学の同僚の江田さん主催の国際基督教大学での落語会を手伝ってきます。ミドルベリー夏学校の同窓会も同時期に行う予定です。(30人ぐらい参加予定です。)そして、お正月はモルディブに行ってきます。



2011年が皆様にとってすばらしい年になりますようお祈りしています。また一年よろしくお願いたします。



一味 & 由紀子

\*\*\*\*\* 頌春 2011年 卯年\*\*\*\*\*